

三宮、相生橋、水上、各警察署長
 神戸市衛生課長
 神戸税關港務部檢疫課長
 内務省衛生局加藤防疫官

宛

協議事項送付ノ件

四月十日御大典ニ對スル防疫措置トシテ協議サレタル事項別紙ノ通りニ有之候條此段及送付候也

協議事項

「ハ、スト」豫防

一、警戒區域ニ關スル件

1. 第一警戒區域ハ直接外航船舶ニ關係アル地帯ヲ區域トス
2. 第二警戒區域ハ第一警戒區域ニ直接關係アル地帯トス
3. 第三警戒區域ハ神戸市鐵道以南ニシテ前二項ニ該當セサル地帯トス
4. 第四警戒區域ハ神戸市鐵道以北ノ地帯トス

二、除鼠ニ關スル件

1. 第一警戒區域ニ對シテハ殺鼠劑ノ配付、捕鼠器ノ配置、瓦斯除鼠法ヲ勵行セシメ特ニ高濱倉庫、東神倉庫等ノ大倉庫ニハ專任捕鼠人夫數名ヲ常置スル様セシムルコト
2. 第二警戒區域ハ市役所ヨリ配置セル人夫ヲシテ殺鼠劑ノ配付及捕鼠ヲ勵行セシム
3. 第三、第四警戒區域ニ對シテハ宣傳其ノ他ノ方法ニヨリ捕鼠ヲ督勵スルコト

4. 外航船舶ニ對シテハ港務部ニテ從來施行シツ、アル方法ヲ勵行シテ除鼠ヲ行フコト
 5. 内航船舶及舢舨内ノ除鼠方法ハ水上署ニテ督勵スルコト
尙解組合ニ對シテ水上署ヨリ除鼠督勵方交渉スルコト
- 三、防鼠設備ニ關スル件
1. 各關係警察署ニ於テ現在倉庫ノ防鼠設備ノ現状及收藏物品ノ種類等變更ナキヤ否ヤニ就テ調査視察スルコト
 2. 外航船舶ノ鼠返シノ設備及取締ハ港務部ニテ勵行スルコト
 3. 内航船舶ノ鼠返ニ就テハ水上署ニテ取締ルコト
 4. 岸壁ノ防鼠設備ヲ修理スルコト

四、檢案並ニ細菌檢査ニ關スル件

1. 檢案並ニ細菌檢査ハ從來ヨリモ一層勵行スルコト

五、蚤ノ驅除及試驗ニ關スル件

1. 倉庫ノ清潔方法ヲ勵行スルト共ニ必要ノ場所ニハ蚤取粉又ハ「クレゾール」水ヲ撒布スルコト
尙必要ニ應シ「モルモット」ヲ放置シ「ケオビス」ノ檢査ヲ行フコト

「コレラ」豫防

一、宣傳ニ關スル件

1. 縣市及聯合衛生組合ニテ其ノ時期方法等ヲ適當ニ協議スルコト
2. 但シ豫防注射ヲ開始スル直前及同時ニ數回行フコト

二、豫防注射ニ關スル件

開始ノ時期業態地域

1. 上海ノ發生狀況ニヨリ大阪、福岡、山口、廣島、岡山、香川、徳島、高知等ノ各府縣ト成ヘク同時ニ開始スル様加藤防

疫官ニ一任ス

2. 海上従業者及其家族並ニ之レト密接ナル關係ヲ有スル地域ニ住居スルモノニ對シ第一着ニ實施スルコト
 3. 直接神戸市其他ニ於ケル水上従業者二萬五千人及其ノ家族約十萬人合計十二萬五千人ニ對シテ實施スルコト（但漁業者ヲ除ク）
 4. 前項注射ハ内務省ノ援助ヲ受ケ注射班貳拾班ヲ編成シ二ヶ月間ニ實施スルコト
 5. 外航ノ郵船商船等ノ乗組員全部ニ對シテ直ニ實施スル様當該會社ニ示達スルコト
- 三、魚類ニ關スル件
1. 縣下ニ於ケル漁業者一萬一千五百六十二戸人口約五萬五千人ニ對シ豫防注射班十八班ヲ編成シ二ヶ月間ニ實施スルコト
 - 四、各縣ト連絡ニ關スル件
 1. 注射ノ回数分量注射證ノ交付等加藤防疫官ニ一任スルコト
 - 五、早期發見

痘 疹 豫 防

1. 定期種痘ノ施行及未種痘者ニ對スル督勵ニ關スル件
 1. 現在神戸市ハ勸誘員ヲ増員シテ施行シツ、アルモ特ニ支那人朝鮮人等ニ勵行スルコト
 2. 警察署戸口調査簿ニ依リ調査シテ巡回督勵スルコト
- 二、臨時種痘所増設ニ關スル件
1. 市役所ニ於テ増設ヲ實施シ警察署ニ於テ目的達成ニ努ムルコト
 - 三輸入物件取締ニ關スル件
 1. 港務部ニ於テ主トシテ取締ル外陸上地警察署ニテモ取締ルコト

(三) 御大禮關係除鼠成績

昭和三年 自七月二十五日 兵 庫 縣

警署別	區分			除鼠			計			内		譯	
	A 地帯	B 地帯	C 地帯	第二類船	以上計	其ノ他	合 計	細菌検査ヲ行ヒタルモノ	有スルモノ	細菌検査ヲ行ハサルモノ	合 計	合 計	合 計
三宮署	四、八四六	二二、〇九七	七、七六八		三四、七一	二、〇九八	三六、八〇九	二九、八九三			六、九一六		
相生橋署	六、七二三	一六、六六六	一八、五五七		四一、九四六	一六、八三六	五八、七八二	四六、三七六			一一、四〇六		
兵庫署	一〇、九三四	二二、五一一			三三、四四六	二、九一一	三六、三五八	二九、一一一			七、二四七		
水上署					五、七六九	二七八	六、〇四七	五二二			五、五二五		
森合署							四、七一八	三、五七四			一、一四四		
淡川署							一九、九一八	一五、五七二			四、三四六		
林田署							三、四四〇	二、六九八			七四二		
須磨署							一、〇六九	七四八			三二一		
計	二二、五〇三	六一、二七五	二六、三二五	五、七六九	一一五、八七二	五一、二六九	一六七、一四一	一二八、五〇四			三八、六三七		

(四) 御大禮關係防鼠設備改善督勵成績

昭和三年 自七月二十四日 兵 庫 縣

署 別	地帯別	改善豫定倉庫		改善シタル倉庫		改善シタル		改善ヲ要スル倉庫		改善ニ要シタル費額		
		棟數	坪數	棟數	坪數	側壁	床面	鼠返	金網	其ノ他	棟數	坪數
三宮署	A	二四	一〇、二三〇	五	二二〇	四	二	一	一九	一〇、〇〇〇	六八八	五〇〇
同	B	一七三	一三、五〇七	五一	二、九二〇	二九	一八	一	一一三	一〇、五八七	六、二九二	八五〇
同	O	一	一一									
相生橋署	A	九三	八、四三二	九三	八、四三二	四三	一一	二一	一一	一、六四八	四〇〇	
同	B	六七	三、二四七	六七	三、二四七	九	一一	一四	一一	二八五	六〇〇	
同	C	七	三〇〇	七	三〇〇	三	三	五	五	九〇	五〇〇	
同	上屋	七	六、八五〇	七	六、八五〇	二〇	三	六	六	三一三	五〇〇	
兵庫署	A	一七三	八、二八三	二四	一、六七三	一九五	四二	一〇	二〇	一、〇五〇	〇〇〇	
計		一七三	八、二八三	二四	一、六七三	一九五	四二	一〇	二〇	一、〇五〇	〇〇〇	

備考	計	殺鼠劑 配布及 探鼠班		捕鼠班
		住家班	倉庫班	
一、捕鼠班所要人夫ハ現在配置中ノ者ヲ使用シ三官署ノ不足三名ハ濱川署ヨリ一名森合署ヨリ二名ヲ充當ス	二	五	三	三
	人警市監 察吏員吏 夫官	人警市松 察吏員元 夫官 監	人警天原中 察野村 夫官 各 六三 監吏	警岡谷角 察崎内 官 各 三 監吏
	六	二	一	二
	人警市監 察吏員吏 夫官	人警市前 察吏員田 夫官 監	人警真 察田 夫官 監 二一 吏	警青中 察坂野 官 監 二 吏
	六六一五	四二一吏	二一	二
	九	五	一	二
	人警市監 察吏員吏 夫官	人警市小酒 察野見 夫官 監	人警藤 察田 夫官 監 二一 吏	警本庄 察 監 二 吏
	一二九三六	〇五三吏	二一	二
	四	四		
	人警監 察官 夫 吏 四 四 四	人警角上 察本原、 夫官 本、 、他 島中 四 四 一 吏		
	三	四	二	七
	人警市監 察吏員吏 夫官	人警市監 察吏員吏 夫官	人警監 察官 夫 吏 一 五 五	警監 察官 吏 七 七
	三三二 八一三	二一四 二八四	〇五五	七 七

三、「コレラ」豫防ニ關スル件

「コレラ」豫防ニ關シテハ海外特ニ上海ノ流行狀況ニ依リ神戸港及縣下各港ニ於テ水上従業者並ニ之ト密接ナル關係者等約十七萬七千五百人ニ對シ直ニ豫防注射ヲ實施スヘク豫テ計劃シ居リタル處内務省ヨリ八月十日付ヲ以テ計劃遂行ノ訓令ニ接シ同月十五日ヨリ神戸港ノ外主ナル十七港灣ニ醫師、看護婦、防疫監吏、警察官、市町村吏員ヲ以テ編成セル注射班ヲ適宜ニ配置實行シツ、アリタル處九月二十七日神戸港ニ入港セル英國貨物船グレンナツプ號一等運轉士デー、エフ、ゼー當三十八年「コレラ」患者ト決定次テ十月二日大阪市内ニ一名ノ本病患者發生シタルヲ以テ從前ヨリ警戒ヲ一層嚴密ニシ神戸港ノ海水使用ヲ停止シタル外特別防疫班ヲ増加配置スルト共ニ神戸市全部ニ對スル豫防注射ヲ實施シタルカ十一月二十日防疫班解除迄ニ神戸港水上従業者及其關係者三萬六千五百七十人、其ノ他ノ港灣二萬九千六百八十三人、日本郵船、大阪商船兩會社ニ示達シテ會社船舶乗組員ニ施行シタル者一萬三千百七人、合計七萬九千三百六十人ニ實施セリ

(一)御大禮關係「コレラ」防疫實施事項

- | 月 日 | 實 施 事 項 |
|--------|--|
| 六月九日 | 檢發第一四六號ヲ以テ「コレラ」豫防ノ爲メ防疫職員増員方内務大臣へ稟請ス |
| 八月十日 | 衛通第三一號(別紙ノ通り)ヲ以テ神戸市各警察署長ニ對シ注射實施ニ關スル件通達ス(八月七日付衛生局長通牒ニ基キ) |
| 同 日 | 衛通第三二號ヲ以テ沿岸關係尼崎外十二署長ニ對シ前記同上ノ件通達ス |
| 同 日 | 檢發第一八六號ヲ以テ神戸市長ニ對シ水上生活者ニ對スル豫防注射開始ニ付關係署長ト協力實施方ノ件通牒ス |
| 同 日 | 衛通第三三號ヲ以テ神戸市内(水上署ヲ除ク)各警察署長ニ對シ市長ト協力實施シ其成績報告方ノ件通牒ス |
| 八月十三日 | 檢發第一八七號ヲ以テ關係各府縣警察部長宛「コレラ」豫防注射施行ノ件通報ス |
| 八月十四日 | 縣下各港ニ於ケル水上生活者ニ對スル豫防注射開始ノ件内務大臣へ電報々告ス |
| 八月二十二日 | 衛通第三五號ヲ以テ那波警察署長ニ對シ「コレラ」防疫方法實行方通牒ス |
| 八月二十四日 | 檢發第一九九號ヲ以テ「コレラ」豫防注射實施ニ關スル件内務大臣へ報告ス |
| 八月三十一日 | 衛通第三六號ヲ以テ神戸水上那波兩警察署長ニ對シ「コレラ」流行地ト指定セラレタル場合各地ヨリ來航ノ船舶ニ對スル取扱方ノ件通達ス |
| 九月十一日 | 衛通第四〇號ヲ以テ檢病調査探便検査其他防疫法續行方通達ス |
| 九月二十二日 | 檢發第二四六號ヲ以テ「コレラ」豫防措置概況内務大臣へ報告ス |
| 九月二十七日 | 神戸港ニ入港ノ外國船舶乗組員「コレラ」患者發生ノ件内務大臣へ報告ス |
| 同 日 | 前記警戒方神奈川京都大阪其他關係府縣へ電報又ハ電話ス |

九月二十八日 檢發第二四七號ヲ以テ關係各官公衙宛「コレラ」患者發生ノ件通報ス

同日 兵庫縣令第四十七號ヲ以テ神戸港内ノ海水使用ヲ停止ス

同日 檢發第二四九號ヲ以テ縣令公布ノ件内務大臣へ報告ス

同日 檢發第二四八號ヲ以テ關係各官公衙長宛海水使用停止ノ件通報ス

九月二十九日 檢發第二五一號ヲ以テ「コレラ」患者發生ノ件關係各官衙宛通報ス

同日 檢發第二五五號ヲ以テ縣下各郡市醫師會長宛「コレラ」豫防警戒ノ件通牒ス

同日 衛通第四三號ヲ以テ關係警察署長ニ對シ海水使用停止取締ニ關スル件通達ス

同日 衛通第四四號ヲ以テ神戸市内各警察署長ニ對シ更ニ一般市民「コレラ」豫防注射實施ノ件通達ス

同日 檢發第二五四號ヲ以テ神戸市長宛前記ノ件通牒ス

十月二日 檢發第二六〇號ヲ以テ沿岸各警察署長宛移出生魚類ニ對スル證明書交付ノ件通牒ス

十月三日 衛通第四六號ヲ以テ大阪市ニ發生セル「コレラ」豫防警戒ノ件沿岸各警察署長ニ對シ通達ス

十月六日 檢發第二六九號ヲ以テ「コレラ」防疫狀況ヲ内務大臣へ報告ス

十月十五日 兵庫縣令第五〇號ヲ以テ海水使用停止ノ縣令ヲ廢止ス

同日 檢發第二八七號ヲ以テ前記ノ件内務大臣へ報告ス

十月六日 衛通第四七號ヲ以テ神戸水上警察署長ニ對シ「コレラ」豫防事績報告方通達ス

十月九日 檢發第二七六號ヲ以テ京都府知事宛「コレラ」豫防ノ府令廢止ノ件照會ス

(二)「コレラ」豫防注射成績表 昭和三年(自七月二十五日)

種別	神戸市		同 上 家 族		其ノ他ノ市部		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
汽船乗組員	10	10	10	10	10	10	10	10
帆船	10	10	10	10	10	10	10	10
舟船	10	10	10	10	10	10	10	10
沖仲仕	10	10	10	10	10	10	10	10
濱仲仕	10	10	10	10	10	10	10	10
船行商人	10	10	10	10	10	10	10	10
座船	10	10	10	10	10	10	10	10
漁夫	10	10	10	10	10	10	10	10
其他	10	10	10	10	10	10	10	10
計	100	100	100	100	100	100	100	100

兵庫縣

種別	神戸市		同 上 家 族		其ノ他ノ市部		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
汽船乗組員	10	10	10	10	10	10	10	10
帆船	10	10	10	10	10	10	10	10
舟船	10	10	10	10	10	10	10	10
沖仲仕	10	10	10	10	10	10	10	10
濱仲仕	10	10	10	10	10	10	10	10
船行商人	10	10	10	10	10	10	10	10
座船	10	10	10	10	10	10	10	10
漁夫	10	10	10	10	10	10	10	10
其他	10	10	10	10	10	10	10	10
計	100	100	100	100	100	100	100	100

(三)海水使用停止中ノ取締事績表 (昭和三年自九月二十八日) 至十月十六日)

兵庫縣

名 種 別	取扱總件數	漁 撈	遊 泳	海 水 汲 取	飲食物、同器 具衣類洗滌	内 科		課 註 意	
						料 脫	論 訓	戒 注	意
兵 庫	七三	六七	一	三	三	三九	六	二八	
水 上	一七一	八三	一	五七	三〇	一〇三	六	二四	
机 橋	二二	一	一	一六	六	四	二	一六	
三 宮	一	一	一	一	一	一	一	一	
合 計	五八	七	一	三二	一九	一一	一	二四	
御 幸	二四四	九六	二二	八四	四一	五九	二	一六四	

計	五六八	二五三	二四	一九二	九九	六〇	二二六	三六	二五六
---	-----	-----	----	-----	----	----	-----	----	-----

備考
 使用停止 昭和三年九月二十八日兵庫縣令第四十七號
 解除 同 年十月十五日同 令第五十號(十月十七日ヨリ廢止)

(四)神戸港内水上生活者ニ對スル「コレラ」豫防診療成績表 昭和三年自十月二十日

種別	性別	診療人員	同上中投藥並ニ處置人員		計
			感胃脚氣腸病外傷共ノ他	計	
汽船乗組員	女男	二七	六	三	一五
帆船	女男	一八一	二二	一七	四二
舟船	女男	六七	一三	一七	四〇
沖仲仕	女男	三	一	一	二
濱仲仕	女男	三	一	一	二
船行商人	女男	一	一	一	二
座船	女男	一	一	一	二
漁夫	女男	六	二	一	三
其他	女男	一八六	四七	一三	一八〇
計		一八六	四七	一三	一八〇

(五)神戸港内水上生活者ニ對スル「コレラ」豫防檢病調査成績表 昭和三年(自十月二十日)

種別	性別	檢病人員	同上中探便人員
汽船乗組員	女男	一、六五九	四〇
帆船	女男	二、五七九	二二六
舟船	女男	一、三三〇	一七四
沖仲仕	女男	二九一	一四
濱仲仕	女男	二六四	一
船行商人	女男	六三	一
座船	女男	八二	二
漁夫	女男	二四二	一
其他	女男	六、六三〇	四二一
計		九、二六〇	四四一

(六)「コレラ」流行地ト指定セラレタル場合同地ヨリ來航ノ船舶ニ對スル取扱方ノ件(衛通第三六號神戸水上警察署長宛)
 上海ニ於ケル「コレラ」發生ノ現況ニ鑑ミ近ク同地ヲ本病流行地ト指定セラルヤモ計難キニ付豫メ當該船舶ノ遵守事項ヲ示達シ置クト共ニ指定後ハ左記ニ依リ取扱ハルヘシ
 右通達ス

昭和三年八月三十一日

警察部長
 兵庫縣書記官 井上政信

「コレラ」流行地ヨリ來航スル船舶ニ現ニ又航海中「コレラ」患死者ナキ場合ノ取扱方
 第一 便所其ノ他ノ場所並流行地ニ於テ積入レタル飲料水、使用水、野菜、果物、魚介等ノ生物其ノ他病毒傳播ノ媒介トナル
 (ヘキ物件ニシテ特ニ消毒ノ必要アリト認ムルモノハ最初ノ港ニ於テ之ヲ消毒スルコト他ノ港ニ於テ消毒ヲ施行シタルモノニ
 對シテハ特ニ必要アル場合ノ外再ヒ消毒ヲ爲ササルコト

第二 前項ノ消毒ハ當該官吏之ヲ施行スルカ又ハ當該官吏指揮ノ下ニ船舶ヲシテ之ヲ行ハシメ消毒ノ爲成ルヘク他港ニ回航セ
 シメサルコト

第三 船客、乗組員ニ對スル取扱ハ左ノ各號ニ依ルコト

- 一、船客、乗組員ニ對シテハ消毒ヲ爲ササルコト
- 二、最初ノ港ニ於テ船客乗組員ニ對シ其ノ必要ナシト認ムル者ヲ除クノ外糞便検査ヲ施行スルコト、他ノ港ニ於テハ特ニ必
 要アル場合ノ外再ヒ糞便検査ヲ爲ササルコト
- 三、前號ニ依ル糞便検査ヲ行ヒ得サル事情アルモノニ對シテハ成ルヘク探便ノ上他港ニ進航ヲ許シ糞便検査ノ結果ハ直ニ其
 ノ到着港ノ官憲ニ速報スルコト
- 四、前二號ニ依リ糞便検査又ハ探便ヲ爲シ得サルトキハ順次ニ他ノ港ニ於テ前掲ニ準シ之ヲ取扱フコト
- 五、注意スヘキ症狀アル者及之レト密接ノ關係アル者並糞便検査ヲ爲スヘキ者ニ對シテハ其ノ検査完了迄上陸ヲ許可セサル
 コト

第四 糞便検査済ノ者探便済ノ者及糞便検査ノ必要ナシト認メタル者ニシテ他港ニ進航スル者ニ付テハ其ノ證明書ヲ與フルコ
 ト

本項ノ證明アル者ニ對シテハ注意スヘキ症狀其ノ他特ニ必要アリト認ムル事情ナキ限り更ニ糞便検査ヲ行ハサルコト

第五 糞便検査ノ結果異狀ナキ者、糞便検査ノ必要ナシト認メタル者及流行地ヲ發シタル後二週間ヲ經過シタル者ノ糞便ヲ除

クノ外船客乗組員ノ糞便ハ之ヲ消毒シタル後ニ非サレハ港内ニ放流セシメサルコト

第六 第一乃至第三ニ記載スル處置ヲ了セサル船舶ニ對シテハ當該官吏指定ノ錨地ニ於テ其ノ監督ノ下ニ荷役ヲ許可スルコト

第七 上海、長崎、神戸間ノ日支連絡船ニ關スル取扱ハ別ニ定ムルトコロニ依ル

備考

本文中當該官吏トアルハ検査ヲ施行スル港ニ於テハ検査官吏、検査ヲ施行セサル港ニ於テハ警察官吏ナリトス

第三項第五號ノ取扱ニ關シテハ更ニ相當指示スル迄ハ検査完了ヲ待タヌ探便ノ上上陸ヲ許可シ其ノ糞便検査ノ結果「コレ
 ラ」菌ヲ發見シタルトキハ本人ノ行先地ノ官憲ニ速報スルコト

「コレラ」流行地ヨリ來航スル船舶ノ遵守スヘキ事項

第一 便所其ノ他ノ場所並流行地ニ於テ積入レタル飲料水、使用水、野菜、果物、魚介等ノ生物其ノ他病毒傳播ノ媒介ト
 ナルヘキ物件ニ對シテハ最初ノ港ニ於テ消毒ヲ施行シ又ハ船舶ヲシテ消毒ヲ施行セシムルコトアルヘキニ依リ特ニ便所ノ清
 潔保持ニ努メ尙流行地ニ於テハ前記ノ物件ヲ成ルヘク積入レヌ又ハ之ヲ持込マシメサルコト

第二 乗組員ニ對シテハ已ムヲ得サル用務アル場合ノ外流行地ニ上陸ヲ禁シ上陸中ハ生物其ノ他病毒傳播ノ虞アルモノヲ飲食
 セシメサルコト

第三 流行地碇泊中已ムヲ得ス一時上陸スル船客ニ對シテハ豫防上必要ナル注意ヲ與フルコト

第四 流行地ヨリ乗船スル者ハ乗船前其ノ健康状態ニ注意シ疑ハシキ者ハ乗船セシメサルコト

第五 船舶ニ於テハ特ニ船客乗組員ノ健康状態ニ注意シ「コレラ」ニ疑ハシキ患者ハ速ニ隔離其ノ他適當ノ豫防措置ヲ爲スコ
 ト

第六 船客乗組員ノ糞便及「ビルヂ、ウオーター」ヲ内地ノ港内ニ放流又ハ排除スルニ付テハ當該官吏ノ指示ニ從フコト

第七 現ニ又ハ航海中「コレラ」患死者ナキ船舶ニ在リテハ規定期間ノ停留ヲ省略スル爲メ糞便検査ヲ爲シタル者ニ對シテハ
 注意スヘキ症狀アル者及之ト密接ノ關係アル者ニ非ラサル限り直ニ上陸ヲ許可スヘキニ付探便其ノ他ニ關シ豫メ相當ノ用意

ヲ爲スコト

(七)「コレラ」疑似患者發生豫防措置ノ概況報告(檢發二四六號)

本日午後四時「コレラ」疑似患者一名發生シタル狀況左記ノ通りニ有之候條此段及報告候也

昭和三年九月二十七日

知事

内務大臣宛

記

一、疑似決定ノ日時

昭和三年九月二十七日午後四時

二、發生ノ場所

神戸港入港中第十號浮標繫留ノ英國貨物船グレナツブ號

三、患者

グレナツブ號一等運轉士 英國人 テイ・エフ・ゼー

當三十八年

四、本病流行地トノ交通關係

前記グレナツブ號ハ八月四日倫敦出帆ポートサイドニ八月十五日入港同日同港出帆スエズ八月十六日通過ベナン九月二日入港翌三日出帆シンガポール九月五日入港七日同港出帆香港九月十二日入港十四日同港出帆上海十七日入港二十二日(上海六日間碇泊)出帆二十五日午前七時五分和田岬檢疫所ニテ下級船員四十八名採便ノ上午前八時神戸渡入港第十號浮標ニ繫留荷役ヲ了シ二十六日午後一時横濱ニ向ケ出帆セリ

五、患者發病ヨリ決定迄ノ狀況

九月二十五日夕刻神戸市三宮町一丁目四三ドクトル、カニコ、チルン方ヘグレナツブ號ヨリ患者ノ往診ヲ求メタルヲ以テ直

ニ往診シタルニ前記患者ノ症狀ニ赤痢又ハ「コレラ」ノ疑アリタルヲ以テ採便ノ上二十五日午後九時豫テ面識アル神戸市東山病院前山副院長ヘ送付シテ患者ノ居所氏名等ハ附記セス單ニコレラ菌赤痢菌ノ有無檢査方依頼シタルヲ以テ直ニ培養試驗中二十七日午後三時コレラ疑似菌ヲ認ムル旨當廳ヘ報告檢査ノ立會ヲ求メタルニ依リ直ニ當廳吏員ヲ派シ檢査ノ結果疑似コレラ菌ヲ認ムト決定ス

六、患者ノ處置

以上ノ狀況ニテ主治醫チルンハ疑似ノ疑ヲ懷キタルモ未タコレラ患者ト診定ニ至ラサリシ爲メ豫防法ニ示セル消毒其他ノ指示ヲ爲ササリシ故二十七日午後四時ノ決定前二十六日午後一時該船ハ既ニ荷役ヲ了シ患者ヲ乗セタル儘横濱ニ向ケ出帆シタルモノニシテ繫留中ノ患者ノ排泄物ハ其儘、港内ニ放流セラレ海水ハ爲ニ汚染セラレタルノミナラス横濱迄ノ航海中病毒傳播ノ虞アルハ頗ル遺憾トスル所ナルカ瀬戸内海沿岸各縣ニ通報スル外神戸港内海水使用停止ノ縣令ヲ公布シテ病毒ノ散蔓ヲ防止スルト共ニ警戒方直ニ神奈川縣ニ通報セリ

七、豫防措置

(1)豫防注射並ニ健康診斷

神戸港内水上生活者約二萬五千人ニ對スル豫防注射ハ既報ノ通り八月十五日ヨリ引續キ實行シ居リ既ニ本日迄ニ二萬一千餘人ヲ實施シテ大部分ヲ終了セルモ其後ノ異動者注射洩レ等ヲ徹底的ニ調査實行スルハ勿論該船繫留中交通シタル荷役人夫艦船行商其ノ他船員ノ上陸先等關係者全部ニ對スル注射並ニ健康診斷ヲ行フ

(2)採便檢査

該船ノ荷役ニ從事シタル人夫百餘名並ニ艦船行商人其ノ他直接關係者全部ハ防疫職員ヲシテ嚴重調査ノ上採便班ヲ編成シ徹底的ニ採便檢査ノ管ナリ

(3)陸揚シタル荷物並ニ其處置

イ、薄板(鐵板)一千八百束ハ神戸市川西倉庫取扱ニテ解船二隻ニテ直接大阪市御崎町大阪亞鉛板株式會社ニ收納シ居リ其

旨大阪府警察部へ通報ス

- ロ、硫酸アンモニヤ四千袋大七商會取扱
- ハ、硫酸アンモニヤ二萬一千二百袋大正運輸會社取扱前記四千袋ト共ニ縣下加古郡多木肥料會社送附ノモノ
- ニ、桐材 二千九百六十七枚 神戸市上組扱ニテ森本濱ニ存置ス
- ホ、雜貨三十七箇(洋毛)

ヘ、牛骨 百九十九袋 前記雜貨ト共ニ上組取扱ニテ京橋ノ下ニ繋留中
ト、米四百八十俵 高濱三菱倉庫ニ收藏

チ、護謨原料 二百箇 住友倉庫收藏

リ、雜 貨 四百箇 同上

以上ノ如ク陸上貨物ハ行先數量調査ノ結果判明セルヲ以テ夫々消毒處置スル筈

(4) 檢病の調査ノ實行

濱仲仕、沖仲仕、石炭仲仕、帆船々夫、漁夫其他ニ對スル檢病調査ハ既ニ二班ヲ編成シテ實行シ居ルモ海水汚染ノ虞アルニ鑑ミ之ヲ増班シテ周密ニ實行スル見込

(5) 神戸港内海水使用停止

二十五日午前八時第十號浮標繋留後二十六日午後一時神戸港出帆迄約三十時間ニ亘ル長時間患者ノ排泄物ヲ港内ニ放流シテ海水ヲ汚染シタル虞アルヲ以テ豫防法第十九條ニ依リ當分ノ内海水使用停止ノ縣令ヲ公布シ一面多數船舶ノ使用水ハ神戸市長ヲシテ神戸港沿岸適宜ノ場所ニ無料給水栓及給水船ヲ設置配水シ嚴重取締ヲ勵行シテ病毒ノ傳播防止ニ努ムル筈

(6) 關係各官衙へ通報及患者早期發見

京都大阪等ノ近府縣ハ勿論臺灣朝鮮關東廳其ノ他内地ノ關係官公衙ニ通報シテ豫防警戒ノ連絡ヲ期スルト共ニ縣下沿岸各警察署長ヲシテ此際特ニ下痢症患者等ニ對スル健康視察ヲ勵行シ患者ノ早期發見ニ努ム 以上

(八)「コレラ」防疫ノ狀況報告(檢發第二六九號)

九月二十八日附ヲ以テ報告致置候「コレラ」防疫ニ關スル件其後ノ狀況左記ノ通及報告候也

昭和三年十月六日

兵庫縣知事 長 延 連

内務大臣 望 月 圭 介 殿

記

一、檢疫費追加豫算ノ支出

御大禮關係衛生施設事項ノ遂行上萬遺憾ナカラシムヘク本縣當初豫算中ノ檢疫費四萬八百九圓ノ外五月五日同上追加豫算二萬八千九百二十七圓、九月五日四千四百九十七圓ヲ支出シテ「ベスト」、「コレラ」、「痘瘡」、「腸チフス」其他ノ傳染病ノ豫防ニ萬全ヲ期シ居候處九月二十七日既報ノ通り外國汽船中ヨリ「コレラ」患者發生シタルノミナラス次テ十月二日大阪府ニモ發生シ之レカ防疫施設ノ擴張増加ヲ必要トスルヲ以テ尙十月五日別紙第一表ノ通り八千八百八十四圓ノ檢疫費ヲ追加豫算ヲ以テ支出セリ

二、神戸港内ノ防疫措置

1. グレナツプ號荷役其ノ他ノ關係者ノ採便検査

該船ノ荷役ニ從事シタル者ヲ精査シタルニ別紙第二表ノ如ク百五十二名ナリシヲ以テ九月三十日迄ニ第一回ノ採便検査ヲ終了シタルニ何レモ陰性ニテ更ニ十月二日、三日ニ亘リ第三回ノ採便ヲ爲シ目下細菌検査中

2. 海水使用停止ノ取締

九月二十八日日本縣令第四十七號ヲ以テ神戸港内ニ於ケル海水ノ使用ヲ停止スルト共ニ沿岸各警察署長ヲシテ嚴重ナル取締ヲ勵行シ海水ニ依ル病毒ノ散逸防止ニ努メ居レリ

3. 陸上荷物ニ對スル措置

陸上荷物ハ既報ノ如ク重量一千六百噸ニ及ヘルモ米以外ハ飲食物ナク而モ收藏所調査ノ結果判然タルヲ以テ夫々措置ヲ了シ本項ニ依ル病毒傳播ノ虞ナシ

4. 海上従業者ニ對スル患者早期発見

海上従業者ニ對シテハ既ニ其大部分ニ對スル豫防注射ヲ完了シ居ルモ引續キ從前ヨリ配置セル注射班六班ヲ督勵シテ出入船舶乗組員ノ未了者ヲ調査實施セシムル外十月二日ヨリ第三表ノ如ク防疫醫、藥劑師、防疫監吏、警察官、看護婦ヨリ成ル無料診療班及檢病班ニ探便班ヲ新ニ編成配置シ之等従業者約二萬五千人ニ對スル各種疾病ノ無料診療並檢病探便ヲ行ヒ患者ノ早期発見ニ努メ居レリ

5. 「コレラ」豫防ノ注意警告

海水使用ノ停止並ニ診療及探便ノ徹底ヲ計ル爲メ別紙宣傳紙五萬枚ヲ印刷ノ上神戸港ヲ中心トシテ一般ニ配付シ自發的警戒心ノ喚起ニ努ム

三、神戸市内ニ於ケル豫防注射ノ實施

1. 神戸市醫師會ノ活動

病毒侵入シテ海上従業者ノ家族生魚商等直接關係アル者ハ勿論一般市民ニ對スル豫防注射ノ必要ヲ痛感シ居リタルニ際シ神戸市醫師會ハ御大禮モ逼レル今日神戸市醫師會トシテ活動シ一般市民ニ無料注射ヲ爲シタキ旨申出タルヲ以テ神戸市ト協議シ注射液ハ縣市ヨリ交附シ十月一日ヨリ市内各開業醫ニ於テ市民ノ希望者及警察署ヨリ示達セル前記家族等ノ無料豫防注射ヲ實施スル外縣市衛生課及縣立病院、濟生會病院ニ於テモ醫師會同様一般ニ開放シテ豫防注射ヲ開始シ居レリ

四、大阪府ニ發生ノ「コレラ」ニ對スル措置

1. 尼崎港ニ對スル防疫

十月二日大阪府ヨリ本病發生ノ通報アリタルヲ以テ直ニ當廳防疫職員ヲ派遣シテ狀況調査セシメル一面本縣尼崎市トハ海陸共ニ接續シテ交通運輸ノ頻繁ナルモノアルヲ以テ防疫醫三名、藥劑師一名、看護婦三名、防疫監吏四名、警部補一名ヲ

派遣シ防疫班三班、消毒班一班ヲ編成シ尼崎港入港船舶乗組員ニ對スル豫防注射ノ續行及檢病調査、探便検査等ヲ實施ス

2. 沿岸各港ニ對スル措置

患者發生セル尻無川一帶ニハ本縣ヨリ石材、薪炭、材木等ヲ運送スル舟乘業者又ハ商用ノ爲往復スル者多數ナルヲ以テ之等ヲ調査シテ豫防注射探便検査ヲ實施ス

3. 大阪府河港ヨリ移入セル飲食物ニ對スル措置

大阪府ノ河港ヨリ移入セル飲食物ニ對シテハ當分ノ間左記方法ニ依ル消毒ヲ行フコトヲ旨示督勵ス

(イ) 煮沸燒焙

(ロ) 清淨ナル水ニテ充分洗滌スルコト

(ハ) 三千倍稀鹽酸水ニテ洗滌スルコト

(ニ) 直射日光ニテ充分消毒スルコト

以上物品ノ種類ニ依リ選擇實行セシム 以上

(九) 海水使用停止取締ニ關スル件 (衛通第四三號 兵庫、神戸、水上、相生、三宮、舞合、御影各警察署長)

「コレラ」豫防ノ爲九月二十八日日本縣令第四十七號ヲ以テ當分ノ間神戸港内(神戸港内トハ西郷町新在家ノ東角ヨリ南へ五度西ニ入りタル線ト和田岬ヨリ北八十四度三十四分東ニ入りタル線ト交叉シタル一線内ヲ云フ)ニ於テ漁撈游泳ヲ爲シ又ハ海水ヲ汲取リ若ハ飲食物、飲食用器具、衣類ノ洗滌ヲ爲シ之ヲ使用スルコトヲ停止セラレタルニ付之カ取締ヲ勵行シ其成績左記様式ニ依リ報告セラルヘシ

右 通 達 ス

昭和三年九月二十九日

警察部長

兵庫縣書記官 井上政信

取扱總件數	漁	撈	游	泳	海水汲取	飲食物、同器具		内		譯											
						衣類	洗滌	科	料		説	論	訓	戒	注	意					

(一〇)海水使用停止解除ニ關スル件報告(檢發第二八七號)

本日別紙ノ通縣報ヲ以テ九月二十八日公布ノ海水使用停止ノ縣令ヲ解除致候右ハ幸ニシテ其ノ後患者發生セヌ水上生活者生魚商等ニ非常ナル苦痛ヲ與ヘツ、アル實情ニアル爲一先解停致候得共上海地方ノ狀勢並ニ隣接大阪市ニ患者發生ノ狀況ニ鑑ミ警戒ハ不相變嚴重施行致居候條此段及報告候也

昭和三年十月十五日

兵庫縣知事

內務大臣 宛

兵庫縣令第五十號寫

昭和三年九月二十八日兵庫縣令第四十七號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ昭和三年十月十七日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年十月十五日

兵庫縣知事 長 延 連

四、腸チフス豫防ニ關スル件

「チフス」豫防ニ關シテハ昭和三年特ニ本病ノ發生著シク五月既ニ例年ノ二倍ニ達スル狀況ナリシヲ以テ極力豫防注射ヲ督勵スルト共ニ尼崎、西宮、神戸、明石、姫路各都市及其間ニ於ケル町村内飲食物販賣業者五萬一千餘人並ニ前年來ノ罹患全

治者ニ對スル治癒後ノ病原體保有者檢索ノ計劃ヲ樹テ六月十八日ヨリ防疫醫四名、防疫監吏十二名並各署衛生係員ヲシテ採便檢鏡ニ從事セシメ十月一日全部ノ検査ヲ終了シタリ而シテ其ノ検査人員三萬七千六百七名中腸「チフス」病原體保有者二十七名「バラチフス」同上十名赤痢同上一名合計三十八名ヲ發見シタリ尙本廳ニテ腸「チフス」豫防注射液ヲ調製市町村ニ無料交付シタルモノ一百十二ヶ町村數量三十六萬一千九百六十cc二十萬九千五百二十一入分ナリ

(一)御大禮關係傳染病豫防實施事項

- | 月 日 | 實 施 事 項 |
|--------|--|
| 四月十九日 | 衛通第五號ヲ以テ縣下各警察署長ニ對シ傳染病及各種流行病ノ報告方通達ス |
| 同 日 | 檢發第五九號ヲ以テ縣下各都市醫師會長宛前記ノ件通牒ス |
| 六月十八日 | 衛通第二〇號ヲ以テ各警察署長ニ對シ腸「チフス」「バラチフス」病原體保有者檢索ニ關スル件通達ス |
| 同 日 | 檢發第一五一號ヲ以テ洲本姫路相原豐岡村岡各細菌検査所ニ對シ前記病原體保有者檢索採便檢鏡ノ件通牒ス |
| 六月二十三日 | 檢發第一五五號ヲ以テ各警察署長ニ對シ採便採取日報報告方通牒ス |
| 八月二日 | 檢發第一八〇號ヲ以テ縣下各都市醫師會長宛腸「チフス」豫防ノ件通牒ス |
| 同 日 | 衛通第二九號ヲ以テ縣下各警察署長ニ對シ前記豫防ノ件通達ス |
| 八月三日 | 檢發第一八〇號ノ一ヲ以テ縣下各市町村長ニ對シ前記豫防ノ件通牒ス |
| 同 日 | 衛通第三〇號ヲ以テ各警察署長ニ對シ「チフス」豫防ニ關スル件通達ス |
| 十月十二日 | 衛通第四九號ヲ以テ各警察署長ニ對シ衛通第五號通達ノ週報ヲ日々報告方通達ス |
| 十二月十日 | 衛發第五〇號ヲ以テ各警察署長ニ對シ第四九號通達ニ基ク日報廢止方通牒ス |

(二)御大禮關係傳染病患者發生表 昭和三年 自四月一日 至十一月三十日

五、癩豫防ニ關スル件

從來外島保養院ニ於ケル患者收容定員ハ四〇〇名ニシテ殆ント常時満員ノ實狀ニ在リシヲ以テ浮浪徘徊ノ癩患者ヲ悉ク同院ニ送致スルヲ得ス從テ外人ノ來往極メテ頻繁ナル神戸市及阪神沿線ニ於テハ浮浪徘徊ノ癩患者常ニ其ノ迹ヲ絶タス本病豫防上ハ勿論國家ノ體面上實ニ寒心ニ堪ヘサル狀態ナリシカ本年ハ御大典ノ關係上外島保養院ニ於ケル收容設備ヲ擴張シテ其ノ定員ヲ五五〇名ニ増加セラルルコトナリシヲ以テ御大典舉行前ニ浮浪徘徊ノ癩患者ヲ縣下ヨリ一掃スルト同時ニ御大典期間中自宅治療ノ癩患者ノ外出ヲモ嚴重ニ取締ルヘキ計劃ヲ樹テ本年九月外島保養院ニ於ケル擴張設備ノ完成スルヤ縣下各警察署ヲ督勵シテ浮浪ノ癩患者十七名及無資力癩患者十二名ヲ外島保養院ニ送致シ且自宅治療ノ癩患者ニ對シテモ妄リニ外出セシメサル様嚴重ニ取締ヲ加ヘタルヲ以テ幸ニ御大典期間中縣下ニ癩患者ノ彷徨徘徊スル者杜絶セルノ好成績ヲ收メタリ

六、結核及「トラホーム」豫防ニ關スル件

一般業態者ニ對スル結核健康診断及「トラホーム」檢診ニ關シテハ左表(甲)ノ通昭和三年二月ヨリ三月迄ニ既ニ縣下郡部ニ於テ九、〇九五ノ檢診ヲ施行セシカ本年ハ御大典ノ舉行セラル、關係上特ニ業態者ノ範圍ヲ擴張シテ所謂特種業態者中菓子及乳ノ製造又ハ販賣ニ直接從事スル者(館、煮染ノ製造販賣ニ從事スル者ハ飲食店從業者トシテ從來ヨリ施行シ居リ又肉ハ大體ニ於テ生食セサルヲ以テ之ヲ除外セリ)及貸蒲團、貸本、古着ノ賣買、授受ノ業務ニ直接從事スル者ニ對シテモ之ヲ施行スルコトトシ先ヅ第一ニ御大典舉行前ニ神戸市及阪神沿道ノ該當業態者ニ對シテ之ヲ施行シ第二ニ縣下ノ未済地方全部ニ及ホスヘキ計劃ヲ樹テ五月二十三日ヨリ毎日醫師三名ヲ派遣シテ之ニ從事セシメ七月二十五日神戸市内ヲ終了シ引續キ直チニ阪神沿道地方ニ着手スヘキノ處「ベスト」並「コレラ」豫防及腸「チフス」並赤痢保菌者ノ檢索等ノ防疫事務ノ爲醫師ノ手不足ヲ生シ已ムヲ得ス之ヲ延期シ十月上旬ニ至リ「コレラ」防疫モ一段落ヲ告ケ聊カ醫師ニ餘裕ヲ生シタルヲ以テ同月十八日ヨリ之ヲ開始シ同月二十九日迄ニ御影、芦屋、西宮ノ各警察署管内ノ該當業態者ニ對シテ之ヲ施行セリ其ノ成績左表(乙)ノ通ニ有之而シテ之ニ依リテ發見シタル結核並「トラホーム」患者ニ對シテハ夫々諭旨休廢業、治療督勵等適宜ノ措置ヲ講シタリ

(甲) 昭和三年 自二月 至三月 施行 結核 檢診業態別成績表

業態別	種別	受診者	結核			患者百分比	ト					計	患者百分比
			肺結核	喉頭結核	計		症	輕	症	疑似症	計		
醫 妓		五七五				〇・〇一					二二	四・一七	
雇 居		七八二	一							三七	四・二		
宿 居		六八一								三七	五・三七		
料 理		八四〇								三七	六・九〇		
飲 食		二、二四六								一三六	五・四七		
藝 妓		五四								一	一・八五		
貸 座		一三二								一	〇・七五		
席 貨		八											
理 髮		一、一一七								八四	七・九六		
牛乳搾取販賣		一六三	一			〇・〇六				一一	七・三六		
鍼灸、按摩		三九〇								三三	一〇・五一		
菓子製造販賣		一、九八四								二二	一・三〇		
興行場		一〇〇								二二	二・二〇		
遊藝場		二二											
計		九、〇九五	三		三	〇・〇三	三〇	六五四	四五	七二九	八・〇一		

(乙) 備考 施行署名 三田、三木、加古川、高砂、魚橋、飾磨、網干、赤穂、篠山、洲本、志筑、岩屋以上十二署 昭和三年 自五月 至十月 施行 結核 檢診業態別成績表

業態別	種別	受診者	結核			患者百分比	ト					計	患者百分比
			肺結核	喉頭結核	計		症	輕	症	疑似症	計		
醫 妓		二、〇二〇									一三	〇・七九	
雇 居		一九五								一	〇・五二		

ノ他ノ事由ニヨリ絶對ニ外出不能者ト認ムル場合ノ外退院ヲ禁止スルコト、爲セリ

(六)、寺院其ノ他ニ參集スル病者ノ取締

治療ノ目的ヲ以テ寺院其ノ他ニ參集スル病者ノ中ニハ精神病者ト認ムヘキ程度ノモノ尠カラサルヲ以テ十月二十五日ヨリ御大典御終了迄ノ間之等寺院ヲシテ相當數ノ監視人ヲ置カシムル外所轄署ヨリ警察官ヲ派遣シテ取締ニ專從セシムルコト、爲セリ

(七)、各署取締ノ監査

各警察署ニ於ケル視察取締ノ狀況ヲ監査シテ計劃ノ實施ニ努ムル外病者ノ實地視察ヲ行フ爲メ縣内ヲ六方面ニ分チ主任警部外五名ノ衛生課員(警察官)ヲ派遣シテ各區擔當セシメ八、九、十ノ三ヶ月間ハ毎月一回宛十月二十五日ヨリ御大典御終了迄ノ間ハ十日毎ニ出張セシムルコト、シ所轄警察署長ヲ督勵シテ計劃實施上遺憾ナカラシムルコトニ努力セリ

(八)、計劃實施ノ顛末

以上各項ニ亘リ計劃實施ニ努力シタル結果御大典期間中新規病者ヲ發見セシモノ三三六名危險ノ虞アルモノトシテ檢束處分ニ附シタルモノ三〇九名ヲ見ルニ至リ病者總數二七七九名中外出旅行シタルモノ僅ニ十名ニ過キサリシモ外出後二三日ヲ經テ全部取押フルニ至レリ

八、飲食物取締計劃及實施顛末概要

(一)、一般飲食物取締ノ概要

六月十一日ヨリ四日間ニ亘リ全縣下ニ於ケル清涼飲料水、牛乳其ノ他一般飲食物及飲食用器具等ノ一齊取締ヲ勵行シテ不全ナル店舗ノ設備ハ修理改善セシメ收去シタル飲食物及同用器具ニ對シテハ派遣セル技術員ヲシテ簡易試驗ヲ行ハシメ其ノ甚タシキモノニ對シテハ技術試驗ヲ行ヒ七月以降ニ於テハ毎月一回以上同一ノ方法ニ依リ各署毎ニ一齊取締ヲ勵行セシメタル處其收去件數二七一、〇二三件内不適ノ疑アルモノ一一、〇五八件ニ對シテ技術試驗ヲ行ヒ不適品ト決定シタル一、八三二件ニ對シテハ不適ノ程度ニ應シ相當ニ處分シタリ

(二)、一流料亭一齊取締ノ概要

七月二十六日神戸市内旅館、料理店、飲食店等ノ内一流ニ屬スル八十八軒ニ對シ當課技術員ヲ派遣シテ所轄警察署衛生係ト共ニ一齊臨檢ヲ行ヒ一般的衛生設備ヲ始メトシ調理場、料理原料品飲食用器具等ニ付綿密取締ヲ勵行シタル處其ノ成績別表ノ如ク飲食物用器具ニシテ不良ナルモノ一一九件、調理場不潔ニシテ修理ヲ要スルモノ一二件、其他防蟻設備ノ不完備ナルモノ便所塵箱、下水溝排水ノ不完備ナルモノ等數件アリタルヲ以テ夫々適當ナル措置ヲ爲ス

(三)、食料品市場取締ノ概要

十月二十五日ヨリ十一月八日ニ至ル間當課技術員ヲ派遣シテ神戸市内及阪神間(二市二郡)ニ於ケル食料品市場一〇三ヶ所ニ對シ綿密臨檢ヲ行ヒタル結果別表記載ノ通り檢査件數二一、九三三件ノ内二、三〇五件ノ不適品ヲ發見スルニ至リタルヲ以テ其ノ程度ニ應シ相當處分セリ

(四)、牛乳及獸肉營業者取締概要

七、八、九、十、十一ノ五ヶ月間毎月一週間ノ豫定ヲ以テ姫路市以東尼崎市ニ至ル五市六郡ニ於ケル牛乳營業者及獸肉營業者ノ全體ニ亘リ當課技術員ヲ派遣シテ店舗ノ設備乳肉ノ適否ニ付嚴重取締ヲ勵行シタル處別表ノ記載ノ通り臨檢箇所ハ一、四七四件ニシテ設備構造及容器ノ不適ナルモノ六六六件ニ對シテハ相當修理ヲ命シ獸肉中不適ト認ムルモノ五八件ニ對シテハ適當ナル處分ヲ爲ス

清涼飲料水其ノ他飲食物一齊取締成績表(一)

清涼飲料水		其ノ他飲料水		酒		類		醬油		其他		牛乳及乳製品	
數量	適品	數量	適品	數量	適品	數量	適品	數量	適品	數量	適品	數量	適品
1017	270	1115	1115	1115	270	1115	1115	1115	1115	1115	1115	1115	1115
1017	270	1115	1115	1115	270	1115	1115	1115	1115	1115	1115	1115	1115

同

(11)

備考 市部警察捕獲頭數合計一、一五六頭其ノ他都市警察捕獲頭數合計五、三三三頭
昭和三年 自十月一日 至同 七月 狂犬病豫防週間實施成績表

野 犬		野 犬		野 犬		野 犬		野 犬	
大	小	計	戸 口	的 畜	犬 調 査	頭 數	豫 防 注 射	頭 數	豫 防 注 射
一、四三八	一七七	一、六二五	一、六一五	一五、五〇六	計	一五、八六一	一、八七八		
			新 届 出	既 届 出					

一〇、衛生思想宣傳ニ關スル施設事項一切(縣下警察署其他團體)

- 一、三宮署ニ於テハ接客業者ヲ集合セシメ懇談會ヲナス又一般住民ニ對シ印刷物ヲ配付ス
- 一、神戸市湊川料理屋席貸業組合ニ於テハ自戸ノ衛生施設ヲ完全ナラシムル爲組合役員ニ於テ當該組合員ノ營業所ヲ毎月十八日検査スル事トシ五月ヨリ實施シツ、アリ
- 一、神戸市羽阪通三丁目ニ於テハ町會ナル有志等ニヨリ町内隅々ニ至ル迄衛生保持ノ標札ヲ樹テ衛生思想ノ普及ヲ計ルコト、セリ
- 一、姫路市ニ於テハ市内各戸ノ寢具ヲ毎月十五日一回日光消毒ヲナスコト、シ現ニ實行シツ、アリ
- 一、尼崎署ニ於テハ接客業者六百名ヲ招集シ結核豫防思想涵養ノ講演會ヲナス又九月接客業者ニ對シ衛生思想普及講演會ヲナス
- 一、明石署ニ於テハ明石市衛生組合ト提携衛生思想宣傳ノ爲メ各町毎月一回巡回講演會ヲ開催スルコト、ナシ實行シツ、アリ
- 一、西宮署ニ於テハ市醫師會ト提携講演會ヲナシタリ
- 一、武庫郡醫師會ニ於テハ結核花柳病法定傳染病豫防宣傳ビラ六萬枚ヲ調製シ十一月一日ヨリ六日迄ニ二萬枚ヲ飛行機ニテ阪神國道沿線ニ散布シ他ハ小學校兒童ヲ通シ各戸ニ配付ス
- 一、武庫郡産婆會ニ於テハ分娩無料介助券ヲ發行シ貧困者ニ交付方部内各警察署ニ囑託ス

- 一、三田警察署管内ニ於テハ九月一日ヨリ十月四日迄ノ間ニ於テ管内十五ヶ町村内二十一ヶ所ニ於テ保健並傳染病豫防心得ニ付宣傳講演會ヲ開催ス聽衆約七千五百名
- 一、水上郡吉見村ニ於テハ埃捨箱ノ設置ナキ爲メ今回之ヲ各戸ニ設置セリ
- 一、神戸市醫師會ニ於テハ「コレラ」豫防ノ爲メ無料ニテ豫防注射ノ需メニ應シタリ
- 一、姫路市ニ於テハ腸「チフス」患者一時的ニ發生多數ヲ見タル爲メ市民ニ對シ姫路市醫師會ニ於テ無料豫防注射ヲ施シタリ
- 一、縣下各警察署ニ於テハ花柳病豫防、結核、トラホーム豫防、傳染病豫防ノ爲メ各管内一圓ニ涉リ講演會開催シ又ボスタ、一、ピラ、パンフレット、リーフレット等ヲ各戸配布又ハ各所ニ掲示シ以テ宣傳ニ努メタリ

(6) 奈 良 縣

第一款 傳染病其ノ他

第一急性傳染病豫防ニ就テ施行シタル事項

(1) 屍體検査

傳染病患者ノ早期發見ヲ期スル爲メ七月二十日ヨリ十一月末日ニ至ル期間左記地域ヲ限リ屍體検査ヲ施行シタルニ其ノ成績左記ノ通ニシテ傳染病死者ヲ發見スルヲ得サリシモ本事項ノ施行ニ依リ一般的ニ傳染病患者届出ノ迅速ヲ促シ防疫上寄與スル處尠カラサリシ效果ヲ齎シタリ

屍體検査表	検査死體數	發見シタル傳染病患者數
市 町 村 別		
奈 良 市	三四七	一

高市郡	八木町	二六
同	今井町	二八
同	畝傍町	五〇
同	眞菅村	一八
同	金橋村	二一
同	飛鳥村	三
同	鳴公村	二四
同	天満村	二
磯城郡	耳成村	二八
同	香久山村	一三
同	大福村	一
同	多村	二
計		五六三

(2) 保菌者検査

保菌検査ハ八月ヨリ開始シ

- (一) 本年及前年腸「チフス」バチチフス」發生患家家族及之カ患家ト井戸便所ヲ共有スル家ノ家族
- (二) 一般病死者中消化器系統ニ屬スル疾病ニ依リ本年及前年中死亡シタル者ノ家族
- (三) 死體検案地域内及御通過鐵道沿線ニアル宿屋、料理屋、飲食店ノ家族従業者
- (四) 献上品、上覧品出願者及其ノ家族製作者
- (五) 御陵勤番所職員及御少慰所出入者

(六) 地方賜儀ノ調理人ニ對シ各々糞便ヲ採取シ當應ニ於テ腸「チフス」バチチフス」ニ對スル細菌學的検査ヲ行ヒタルニ其ノ成績左記ノ通ニシテ一名ノ保菌者ヲモ發見セス

保菌検査表	
郡市別	検査人員
奈良市	一、五〇〇
各郡	五、一五五
計	六、六五五
	保菌者數
	一

(3) 検病的戸口調査

検病検査ハ四月以降毎月之ヲ施行セルモ御大禮期日ノ切迫スルニ從ヒ尙一層周密ニ行フノ要ヲ認メタルニ依リ更ニ七月計並ヲ改メ縣下ヲ三分シ屍體検案地域ヲ第一、御通過沿道及其ノ附近ヲ第二、其他ノ地域ヲ第三豫防地域ト定メ、第一豫防地域ニ在リテハ毎月二回(但シ十一月以降ハ四日目毎)第二豫防地域ニ在リテハ毎月二回(但シ十一月ニ限り三回)第三豫防地域ニ在リテハ毎月一回検病調査ヲ施行シ以テ傳染病患者ノ早期發見ヲ期シタルニ其ノ成績左記ノ通ニシテ良好ナル實ヲ擧ケタリ

検病的戸口調査成績	自四月至十一月
調査延戸數	四六三、四一七
發見シタル病者	一六、〇九〇
普通病者	九七
傳染病容疑者	九七
容疑者傳染病患者ト決定シタル數	七五
腸チフス	一

(4) 特種營業者検査

屍體検案施行地域内及御通過鐵道沿線ニアル宿屋、料理屋、飲食店ノ家族従業者ニ對シテハ既掲ノ如ク保菌検査ヲ施行シタル外當應醫師ヲ派シ健康診断ヲ行ヒタルニ其ノ成績左記ノ通ニシテ五十五名ノ有病者ヲ發見シタルモ何レモ輕度ノ「トラホーム」患者ナルヲ以テ療法ヲ指示シ治癒ニ至ル迄從業ヲ停止スヘク加論ノ上所轄警察官吏ヲシテ之カ實行ヲ監視セシ

特種營業者健康診断成績表

種別	検診人員	健康者		有病者	
		健康者	有病者	健康者	有病者
宿屋	五四五	五二二	二三		
料理屋	一〇〇	九一	九		
飲食店	四九三	四七〇	二三		
計	一、一三八	一、〇八三	五五		

(5) 豫防注射ノ督勵

腸「チフス」ノ豫防注射ニ就テハ豫テ督勵シ其ノ普及ヲ計リツ、アリシト雖御大禮ニ直面セルヲ以テ殊ニ本病ノ豫防撲滅ニ一層意ヲ用フルノ必要ヲ認メ先ツ前年ニ患者ノ多數發生セル町村ヲ始メトシ本年ニ入りテハ患者發生毎ニ吏員ヲ派シ極力市町村會ヲ督勵シ患者發生地附近ノ住民ニ對シテハ一定區域ヲ定メ必ス豫防注射ノ施行ヲ獎勵シ之カ施術ニハ當廳ヨリ醫師ヲ派シ施術ノ援助ヲナサシムル等ノ方策ヲ取リタル爲メ相當ノ效果ヲ擧ケタリ尙縣下警察官吏ノ全部ニ對シ腸「チフス」豫防注射ヲ施行シ御大禮警備衛備ノ安全ヲ期シタリ

而シテ之等ニ關スル成績ハ第一回接種ノミノモノ四萬二百二十一、第二回接種ヲ完了シタルモノ二萬七千七百三十名ナリ

(6) 衛生講話

一般民衆ノ衛生思想ノ向上ヲ計ル目的ヲ以テ警察署長ニ命シ各地隨所ニ於テ衛生講話會ヲ開催セシメ當廳ヨリ醫師又ハ藥劑師ヲ派シ通俗衛生講話會ヲ開催シ豫防智識ノ普及ニ努メタリ而シテ之カ會合ニハ衛生劇若ハ衛生ニ關スル活動寫眞等ヲ應用シ會衆ノ多數ヲ得ルコトニ努メタルニ各地共非常ナル盛況ヲ示シ其ノ效果著シキヲ見タリ而シテ之ニ關スル成績ハ昭和三年十月十五日現在ニテ開催個所數百六十五、聽講者數十萬六百六十一名ナリ

(7) 防疫講習

防疫事務ノ完壁ヲ期スル爲メ之カ指導ノ任ニアル者及其ノ事務ニ直接スル者ニ對シ充分之ヲ理解セシメ置クノ要アルヲ以テ四月以降約一ヶ月間ニ亘リ防疫講習會ヲ開催シ當廳醫師、藥劑師、警部各一名ヲ講師トシテ全縣下警察官吏、市町村吏員及衛生組合員等ニ對シ傳染病ノ大意及傳染経路、並ニ消毒方法、消毒藥品取扱法其他傳染病豫防法令及事務上ニ就テ講習セシメタリ之カ開催警察署數ハ奈良警察署外十六、講習生ハ警察官吏三百七名、市町村吏員百八十七名、衛生組合員二百九十一名、共ノ他三十三名ニシテ總計八百十八名ナリ

(8) 消毒班ノ特設

傳染病發生ニ際シ豫防消毒ノ經驗ニ乏シキ者ノ消毒ニ從事スルハ實際上不利不便ニシテ殊ニ郡部ニ於テ其ノ實例多キヲ以テ先ツ御陵所在地ノ郡内衛生組合ニ對シ十六ノ消毒班ヲ設置セシメ其ノ班員百四十五名ニ對シテハ當廳ヨリ吏員ヲ派シ豫防消毒ノ實地講習ヲ行ヒ以テ有時ノ場合ニ備ヘシメタリ

第二麻疹外三病ニ就テ施行シタル事項

(1) 麻疹、流行性感冒、流行性耳下腺炎、流行性腦炎ノ豫防方法ヲ講スル爲メ奈良市及高市郡及御通過鐵道沿線並其ノ附近市町村内ニ於テ前記患者死者アリタルトキハ之ヲ診療セル醫師ヨリ届出ツヘク八月二日縣令ヲ公布シタルニ左記ノ通患者届出ヲ受ケタリ而シテ之等患者ニ對シテハ一定ノ事項ヲ指示シ適當ニ豫防方法ヲ講スヘク別途通牒ヲ發シ之カ豫防ニ努メタリ

麻疹外三病患者表

昭和三年十二月一日現在

病類別	麻疹			流行性感冒			流行性耳下腺炎			流行性腦炎		
	患者	治癒	死亡	患者	治癒	死亡	患者	治癒	死亡	患者	治癒	死亡
奈良市	四	四					四	一		三		
郡部	二二	一四		二	二		三三	二九		四		
計	二六	一八		二	二		三七	三〇		七		

第三結核トラホームノ豫防ニ就テ施行シタル事項

結核トラホーム豫防施設ニ就テハ當該豫防法令ノ規定ニ依リ毎年檢診ヲ行ヒツ、アルモ御大典ニ際會セルヲ以テ一層周密ニ施行セシメタリ而シテ之ニ關スル成績ハ左記ノ通ニシテ有病者ニ對シテハ夫々治療スヘキコトヲ命シ一面所轄署長ヲシテ之ヲ監視セシメタルニ何レモ命ニ從ヒ且任意業務ヲ休止シ専心加療ニ努メタルヲ以テ從業ヲ停止若ハ禁止セルモノ一名モナシ

肺結核檢診成績表 昭和三年中

總見患者	總見患者			總見患者	總見患者			總見患者	總見患者		
	發見	患者	者		發見	患者	者		發見	患者	者
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	

トラホーム檢診成績表 昭和三年中

總見患者	總見患者			總見患者	總見患者			總見患者	總見患者		
	發見	患者	者		發見	患者	者		發見	患者	者
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	

健康診斷成績表 (一號) 昭和三年中

總見患者	總見患者			總見患者	總見患者			總見患者	總見患者		
	發見	患者	者		發見	患者	者		發見	患者	者
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	

健康診斷成績表 (二號) 昭和三年 自十二月 至十一月

病名	業態別		藝妓	酌	婦	雇	人	調理人	其ノ他	計
	總人員	受檢人員								
梅毒	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
軟性下疳	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
尿道炎	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
淋毒性疾患	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42
輕症トラホーム	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126
其ノ他疾患	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126
計	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252
合計	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168

第四花柳病豫防ニ就テ施行シタル事項

娼妓ハ勿論其他ノ接客業婦ニ對シテ保健組合ニ於テ行フ健康診斷ヲ一層勵行スルト共ニ洗滌設備ノ完備ヲ期シ豫防用具、豫防藥品ノ使用ヲ勸奨シ殊ニ花柳病豫防法ノ趣旨ニ則リ接客業婦ノ豫防知識ヲ啓發シ併セテ豫防方法ヲ勵行セシムル爲メ縣下各警察署ヲ中心トシテ接客業者ヲ集合セシメ特別講話會ヲ開催セリ